

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2020/12/31	2021/7/31	2021/8/20	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	27,444.17	27,283.59	27,013.25	30,714.52	2021/2/16	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	30,606.48	34,935.47	35,120.08	35,631.19	2021/8/16	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	103.25	109.72	109.78	114.55	2018/10/4	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～ 新型コロナウイルスデルタ株の感染拡大への警戒感から、下落～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲963.90円(▲3.45%)、TOPIXが▲75.71ポイント(▲3.87%)となり、新型コロナウイルスデルタ株の感染拡大への警戒感から、下落しました。業種別(東証33業種)で見ると、医薬品、食料品の2業種が上昇した一方、鉄鋼、輸送用機器、海運業、非鉄金属などの31業種が下落しました。週初16日は、感染力が強い新型コロナウイルスデルタ株の感染拡大が続く中、①政府が6都府県に発令中の緊急事態宣言の期間延長や対象地域の拡大を検討していることが伝わり、経済活動の正常化が遅れるとの見方が強まったこと、②先々週末に発表されたミシガン大学消費者信頼感指数が前月から大きく低下して市場予想をも下回ったことなどをを受け、海外経済の減速が意識されたことなどから、大きく下落して始まりしました。その後も感染拡大に歯止めがかからず、政府が17日に緊急事態宣言の期間延長と京都府など7府県への対象地域拡大を決定したことなどが上値を抑える展開となりました。週後半は、①18日に公表されたFOMC(米連邦公開市場委員会)議事要旨においてテーパリング(資産買入策の縮小)の雇用面での開始条件が年内にも達成される可能性が示され、同日の米国株市場が下落したこと、②19日に国内大手自動車メーカーが半導体不足や感染拡大による部品調達の停滞を理由に大幅減産を発表したことを受け、自動車関連銘柄を中心に広く売られたことなどから下落しました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
8月23日	Mon	欧州	ユーロ圏製造業PMI(購買担当者景気指数)	8月	62.8
			ユーロ圏サービス業PMI	8月	59.8
			ユーロ圏消費者信頼感指数	8月	▲4.4
8月24日	Tue	米国	中古住宅販売件数	7月	5,860千件
		日本	東京パラリンピック開幕(9月5日まで)		
8月25日	Wed	米国	新築住宅販売件数	7月	676千件
		ドイツ	IFO企業景況感指数	8月	100.8
8月26日	Thu	米国	耐久財受注(前月比)	7月	+0.9%
8月27日	Fri	米国	カンザスシティ連銀、年次シンポジウム(ジャクソンホール、28日まで)		
		中国	工業利益(前年比)	7月	+20.0%

決算発表予定 他 海外 決算発表 : 8/23 JDドットコム 8/25 シャオミ、セールスフォースドットコム 8/26 デル、HPインク、ギャップ

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～ 感染拡大懸念や米金融政策の不透明感が上値を抑制するも、将来的な景気や企業業績の回復期待から底堅く推移～

今週の日本株市場は、感染拡大懸念や米金融政策の不透明感が上値を抑制するも、将来的な景気や企業業績の回復期待から底堅く推移すると予想します。新型コロナウイルスを巡り、国内において感染拡大傾向が続いていることに加え、海外でもデルタ株のまん延により消費者や企業のセンチメントが悪化していることは、株価の重しに働くとみています。また、27日にカンザスシティ連銀主催の年次シンポジウムでパウエルFRB(米連邦準備理事会)議長の講演が予定されていますが、テーパリング開始時期を巡る発言に注目が集まる中で、金融政策の不透明感が上値抑制材料に働くと考えます。但し、パウエル議長はハト派的なスタンスを維持するとみており、イベント通過後は買い安心感が広がるとみています。また、ワクチン接種の進展などから景気や企業業績の回復期待は維持されるとみられる中で、バリュエーション面での投資妙味も意識されやすく、一段の株価下落余地は限定的とみています。その他の注目材料として、日本では24日からの東京パラリンピック、米国では25日の耐久財受注、欧州では23日のユーロ圏製造業/サービス業PMI、ドイツでは25日のIFO企業景況感指数、中国では27日の工業利益などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会